

ふれ愛

私達が守りたい地域の笑顔と医療の心



ようこそ

能代厚生医療センター広報誌へ



基本理念

わたしたちは、地域中核病院としてより安全で高度な医療を提供するとともに地域の皆様の健康増進と、より優れた医療者の育成に貢献していきます。

基本方針

1. 地域の皆様に信頼され愛される病院づくりを推進します。
2. 医療の質を向上させ、特色ある病院の構築に取り組みます。
3. 心の豊かさやゆとりのある医療の実践を目指します。

CONTENTS

● リハビリ庭園について……………	2
● 副院長挨拶……………	3
● 経営改善プロジェクトチーム活動紹介	
・ 地域とつながるプロジェクト……………	4
・ 愛される病院づくりプロジェクト……………	5
・ 接遇チーム……………	6, 7
● インフルエンザについて……………	8
● 超音波検査による乳がん検診……………	9
● 院内テナント紹介……………	10
● 病院機能評価認定・今後の行事……………	11
● 外来担当医表・臨時職員募集……………	12

表紙について

リハビリテーション科で園芸療法を開始してから早4年が経過しましたが、このたび念願の歩行路や園芸スペースを備えたりハビリ庭園が完成いたしました。

歩行路は十分な広さや幅が確保されており植物や景色を眺めつつ風を感じながら歩行訓練や車椅子の練習が出来るようになっていきます。また、床の素材を弾力のあるゴムマットにすることで下半身への負担も少なくなり、安全にリハビリができるようになりました。

園芸スペースは多種多様な植物を栽培できるようになっており、花や野菜を育てることで緑の空間が癒しとなり、眺めるだけで気分をリフレッシュすることができます。植物の成長を見守ることで入院中でも季節の流れを感じられ、自宅復帰やリハビリに対する意欲を高めることにもつながります。

このような多目的に使用できるリハビリ庭園ができ、患者様がより楽しみながらリハビリが出来るようになりました。これからも患者様がより癒され、病院の思い出となるような庭園を目指していきたいと思います。

リハビリテーション科 成田 修



私達が目指すもの

副院長 太田原 康成



「急に病気になったらどうしよう」誰しもが考える不安です。私達の病院では、地域の皆様の健康を守る地域の基幹病院として、救急医療に力を入れています。過去1年間に私達の救急外来を受診した患者さんは1万名余り、そのうち救急車での来院は2100件余りでした。これだけ多くの救急患者さんの診療を、少ない医師で24時間維持するのは決して容易ではありません。そこで私達が心がけているのはチーム医療です。

具体的な取り組みを紹介します。救急患者さんが複数いる時、「トリアージ」を行っています。これは、重症患者さんや急を要する患者さんを状況に応じて対応する順番を決めて治療効果をあげる取り組みです。トリアージは事務員・看護師が医師と共同で行います。

第二には、救急医療に関わる職種が定期的にミーティング（委員会）を行い、より良い救急患者受入体制の確立を目指しています。この会には外部委員として地域の救命救急士の代表にもご参加頂き、消防と連携した救急医療体制を構築しています。

第三に、皆様の地域にお邪魔して、健康維持や病気に関わるお話をしております。お邪魔するのは医師のみならず、薬剤師・看護師・リハビリテーション担当者など多職種でお伺いしています。最近では熱中症の予防法や心肺停止時の対処方法を紹介致しました。

更に、将来の医療従事者を目指す地域の若い力の育成にも力を入れています。地域の中学校・高等学校からのインターンシップ（職業体験）やブラックジャックセミナー（手術シミュレーションイベント）開催などを通して医療従事者を目指す若い生徒さんの動機付けのお手伝いをしています。きっと将来私達の仲間入りをして、地域医療を守る仲間となって下さればと夢見ています。

理想の病院に少しでも近付くため、地域の皆様の忌憚のないご意見をお待ちにしていますので、今後とも何卒よろしく願い致します。

経営改善プロジェクトチームが活動しています！

当院では、病院の基本方針である「地域の皆様に信頼され愛される病院づくり（患者の視点）」、「医療の質の向上と、特色ある病院の構築（経営の視点）」、「心の豊かさとゆとりある医療の実践（職員の視点）」の3つの視点から、地域の患者さんに質の高い最新の医療を提供するとともに、ゆとりある環境で療養できるような体制を整えていくことを目的とし、多職種からなる6つのチームが活動を行っております。

その中から、今回は“地域とつながるプロジェクト”と“愛される病院づくりプロジェクト”の活動内容を紹介させていただきます。

<地域とつながるプロジェクト>

チームリーダー 臨床検査科 清水盛也

【活動内容】

“地域とつながるプロジェクト”では、地域住民から信頼され、愛される病院となるため、人と人とのつながりを大切にして、お互いの情報を共有してより良い環境づくりを目的として活動しております。メンバーは医師、看護師の他いろんな職種からの代表15名で構成され、月1回のチーム会議が開催されております。今回は平成28年に行われた情報、意見交換会について紹介いたします。



ボランティア団体との情報交換会

①ケアマネージャー情報交換会 2月16日(火)

「当院における地域包括ケア病棟」について講演を行い、グループワークによる情報・意見交換は「患者さんが安心して地域へ戻るために」をテーマに行われ、以下のようなご意見が出されました。

- ▷在宅療養における往診医師・看取り医師不足、充実した体制づくりの要望
- ▷地域連携室、医療相談室での情報交換・共有の意義、役割
- ▷地域包括ケア病棟～期間・病床数について
- ▷病院とかかりつけ医、介護施設との連携

②ボランティアとの意見交換会 5月27日(金)

「国と医療制度と当院の対応」や「当院の取り組み紹介」について講演を行い、グループワークによる情報・意見交換は「より良い健康生活をめざして～今後の地域連携のありかた～」をテーマに行われ、以下のようなご意見が出されました。

- ▷地域包括ケアシステムについて～地域で周知されていない
- ▷地域やボランティアにも病院や行政の方針・方向性を知らせてほしい
- ▷自宅での看取りが進んでおり病院とかかりつけ医の連携重要
- ▷接遇・対応の大切さ

両活動とも今後当院に対する要望として、病院側と各地区の自治会長、民生委員とのつながりについて、看取り・終活についての勉強会の開催、訪問看護・介護保険についての勉強会の開催等があげられました。情報・意見交換会での貴重なご意見ご要望に対して真摯に受け止め、開業医はもとより、介護・福祉施設、地域のボランティア、行政などとのつながりを深めるために、地域の皆様の声に耳を傾け、活動して行ければと思います。

<愛される病院づくりプロジェクト>

チームリーダー 中央放射線部 伊藤 浩

～最高の癒し空間を求めて～

「愛される病院づくりプロジェクト」では院内の患者さんへの癒しの提供として「エントランスホールのピアノ・バイオリン演奏」と「ホスピタルクラウンによるお楽しみ会」を行なっています。

「ピアノ・バイオリン演奏」は、市内ピアノ教室 渡邊 真弓先生にお願いし一階エントランスホールにて毎月各週水曜日11:45～12:15に行なっています。

普段、生では聴く機会が無いバイオリンの演奏も行なって頂いて、診察が終了し会計待ちの患者さんに向けBGM的に演奏が流れています。優しい音色がとても好評です。

また、7月より毎月第3木曜日15:00より 5A病棟ラウンジにおいて、入院している子供たちの癒しとして「ホスピタルクラウン」を招き小児病棟においてお楽しみ会を行なっています。

ホスピタルクラウンとは、病院に入院中の子ども達に対して笑いや癒しのパフォーマンスなどの活動をしている人たちです。当日は、紙芝居や指人形などを行ない、集まった入院患者が皆、笑いに包まれました。

当プロジェクトでは愛される病院づくりとして様々な企画を検討し、入院・外来患者さんのほか、地域の方々を心から癒すことのできる環境を創っていきたくと思っています。



～最高の接遇を目指して～

当院の接遇チームは平成27年10月に“愛される病院づくりプロジェクト”の中に誕生しました。その後、平成28年5月に接遇チームの中に接遇リンクスタッフが誕生し、現在接遇チーム6名、接遇リンクスタッフ26名で、毎月チーム会議、リンクスタッフ会議を開催し、より良い接遇への取り組みを検討しております。



【接遇チームメンバー紹介】

- 後列左より
 チームリーダー 日沼ゆかり（看護副部長）
 渡部昌子（看護主任） 米谷明沙美（医事企画課） 高橋元子（総務管理課係長）
- 前列左より
 櫻田圭介（リハビリテーション科主任） 小嶋雅人（薬剤科主任）

接遇チームメンバーは、様々な職種で構成されており、一人一人がチームメンバーを大切に思いやることのできる、とてもあたたかいメンバーばかりで、何事へもチーム一丸となり、意欲的に仲良く、楽しく接遇活動を頑張っております。

「患者さんや御家族に満足を与える対応（接遇）を身につけて自分も楽しんで仕事をする事」「患者さん、御家族、同僚、あなたや私の目の前にいるすべての人の立場に立てる対応（接遇）ができること」を私たち能代厚生医療センター職員がみんなでめざしたい接遇目標としております。

毎日、「私たちは、ひとりひとりのあなたを大切に思っていますよ」と心から伝えたいと思っています。病院に来られたすべての人たちに気持ちよく来ていただき、気持ちよく帰っていただきたい。そして、何よりこの病院で診てもらってよかったと患者さんや家族に思ってもらいたい。職員には、この病院で働いていて楽しいと毎日感じてもらいたいと思っています。だからこそ、今私たち職員一人一人頑張ることは、自分が変わりたいと強く思って努力していく事だと思っています。そのために接遇チームとして、沢山の活動を通して職員一人一人を支え共に成長していきたいと思っています。皆様のご意見を有難いものとして頂きながら職員一同成長していきたいと思っていますので、沢山のご意見をお待ちしています。

【接遇チーム発足からの活動紹介】

平成28年

2月22日・・・日総研第1回接遇大賞受賞病院・・・東京衛生病院看護部長平野美理香先生・・・
東京衛生病院の接遇の取り組みについて講演会開催

6月14日・・・接遇の伝道師・・・高橋啓子先生・・・「医療者に求められる接遇とは」講演会開催

8月29日・・・第1回（上半期）院内接遇自慢大会の開催・・・11部署

8月9日・・・職員接遇検定1回目実施

12月・・・第2回（下半期）院内接遇自慢大会開催予定・・・12部署

「笑顔に導くことばがけ集の作成」・・・各部署へ配布使用中

現在「すぐに活かせる！笑顔でひとこと集」作成中



写真は第1回院内接遇自慢大会の様子



最優秀部署に輝いた、医局部門
(近田院長から表彰される、呼吸器内科高橋先生)

冬に流行するインフルエンザについて

インフルエンザの特徴

- 毎年流行
- 風邪に比べて感染力が強い
- 流行が始まると急速にひろがる
- 症状：高熱（38～39℃）・頭痛、倦怠感などの全身症状、鼻汁・咽頭痛・咳やくしゃみなどの呼吸器症状



インフルエンザを予防するために

予防法その1 手洗い（手洗い石けん・アルコール消毒どちらも効果があります）

- 家に帰ってきた時
- お料理を作る前
- ごはんやおやつを食べる前
- トイレの後
- 咳やくしゃみを手で押さえた後

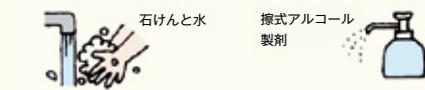


予防法その2 咳エチケット

①咳・くしゃみが出るときには口を押えて！



②最後に手を洗うこと！



予防法その3 ワクチン予防接種

■ワクチンの効果

ワクチン接種してから
効くまでに約2週間かかります。
効果は約5か月間続くと言われて
います。

当院では各科外来で
11月頃から 行う予定です！

予防法その4 栄養と睡眠

- 栄養のバランスの良い食事
- 良い睡眠 疲れをその日のうちにとる

インフルエンザを予防するために、いくつかの方法がありますのでご紹介させていただきました。土台となるのは日頃からの健康管理です。栄養のバランスのとれた食事や疲れをその日のうちにとることも心がけたいところです。

超音波検査による乳がん検診って??

乳がんの現状

- ・乳がんは日本人女性において最も罹患率の高いがんで、死亡数は大腸がん、肺がん、胃がん、膵がんに続き第5位の疾患である。
- ・2010年以降毎年1万3千人以上が乳がんで死亡しており、特に乳がんで死亡する女性は若い世代に多く、年齢階級別では30歳代から64歳までではがんによる死亡原因の第1位である。

乳がんのリスク因子

- 妊娠や出産歴がない ○初経年齢が低い、あるいは閉経年齢が高い
- 飲酒、喫煙、肥満（閉経後）、不規則な生活など

乳がんは検診による早期発見が重要です！！

これまでの乳がん検診はマンモグラフィが標準でしたが、マンモグラフィに超音波検査を加えることで早期乳がんの発見率が1.5倍になるという研究結果もあります。

マンモグラフィと超音波検査の比較



「マンモグラフィと超音波による乳がん検診の感度、特異度」J-START 結果報告（大内ら、2015）

○当院の乳腺超音波検査料金について

健診センターでは、希望により下記の料金で乳腺超音波検査を実施しております。一日2名まで、予約制です。

乳腺超音波検査のみを実施した場	5,400円
マンモグラフィと併用、または人間ドックのオプションで実施した場合	4,428円

30代の三種町・八峰町の住民の方は、年1回町の助成を利用し、下記の自己負担額で乳腺超音波検査を受けることができます。

○三種町の方……1,000円（視触診希望の場合1,300円） ○八峰町の方……500円（視触診を含む）

※料金や助成の内容は平成28年度のもので、今後変更となる可能性があります。

上記の他に、健康保険組合等で乳腺超音波検査の助成を実施しているところもありますので、詳しくはご加入の健康保険へお問い合わせください。

乳腺超音波検査・各種がん検診などのご予約はこちら

能代厚生医療センター 健診センター TEL：0185-52-3111(代)《予約時間／平日 13：00～16：30》

※当院では、女性の患者さんに配慮するため、マンモグラフィと乳腺超音波検査は全て女性の技師が実施しております。



マンモグラフィ担当、女性放射線技師



乳腺超音波検査担当、女性検査技師

院内テナントのご紹介

ドトール



<営業時間>

平日 7:30~18:00

土日祝 10:00~16:00

当店は美味しいコーヒーが飲めるお店です。その他にも、焼き立てパンのミラノサンドや、日替わりケーキもご用意しております。近くにお越しの際は、ぜひお気軽にお立ち寄りください。



レストラン風



<営業時間>

月曜日~金曜日 / 8:30~16:00

(ラストオーダー15:30)

土曜日・日曜日・祝日 / 休み

ガラス張りの 明るく開放感のあるレストラン

広々としたエントランス、ゆったりとした店内は、車いすの方なども安心してご利用頂けます。

お見舞いやご家族様のご休憩の場としてもお気軽にご利用ください。

人気の『日替わり定食』や、より健康にこだわった『週替わりヘルシーランチ』など豊富なメニューを取り揃えて、お待ちしております。

ローソン



<営業時間>

月曜日~金曜日 / 7:30~19:00

土曜日・日曜日・祝日 / 8:00~18:00

当店は、お弁当や飲料水はもちろんの事、下着やタオルなど急なご入院時に必要な商品も取り揃えております。

患者様、御家族様がお買い求めやすい店舗を目指して、スタッフ一丸となって努力してまいります。

皆様のご利用を心よりお待ちしております。

祝 病院機能評価認定

当院は、医療の質向上のため平成22年に日本医療機能評価機構による審査を受け、組織的に医療を提供するための基本的な活動が、適切に実施されている病院として認定されました。

そして今年、再度審査を受け、見事病院機能評価認定が更新されました。



病院機能評価とは？

本来、病院は地域に根ざし、安心・安全、信頼と納得の得られる医療サービスを提供するため、日々改善活動に努めなければなりません。病院の自助努力で改善していくのが前提ですが、第三者の立場から病院の活動状況を評価してもらうことが更なる改善に有用となります。

そこで、実際に第三者となる評価調査者に病院に来てもらい医療の提供や活動を評価してもらいます。これが病院機能評価です。評価を受けることでさらに医療の質が向上し、安心・安全な医療を提供できるようになります。すでに全国の病院の3割が病院機能評価を活用しています。

認定・更新されて終わりではなく、今後も地域の皆様によりよい医療を提供できるよう改善活動に取り組んでまいります。

今後の行事

今年も開催

能代厚生医療センター病院祭！！

今年のテーマは「笑顔でつなぐ地域と医療」
消防車・パトカーの展示、屋台やバザーはもちろんのこと、今年はコカリナ演奏や能代松陽高等学校によるよさこいの披露もあり、地域の皆様に笑顔になってもらえるようなプログラムとなっております。

また、今年も健康コーナーを設けて保健師による健康相談、栄養相談も実施いたしますので、この機会にぜひ健康のことや医療のことを相談してみたいかがでしょうか。

職員一同、心よりお待ちしております。

能代厚生医療センター 病院祭

～笑顔でつなぐ地域と医療～

- 屋台 ■ バザー (13:00～)
- プラ板アクセサリ作り
- 消防車・パトカーの展示
- 健康コーナー
(保健師による健康相談・超音波音密度測定
栄養相談など)
- JA直売会・介護用品展示
- JA共済 アンパンマン撮影会 など

2階 講堂にて……～参加無料～

11:00～
すくすく孫くらぶ

12:30～
『脳卒中の治療と予防』
講師：副院長 太田原 康成

- 10:00～ 湊城幼稚園
- 10:20～ 愛慈幼稚園
- 10:40～ 能代カトリックこども園
- 11:15～ リハビリ庭園開幕式
- 13:00～ 能代ターフェルムジーク(合唱)
- 13:40～ 能代松陽高等学校
よさこい“美咲華”
- 14:05～ のしろコカリナ会による
コカリナ演奏

平成28年

10月29日

土 10:00～15:00

能代厚生医療センター 〒016-0014 秋田県能代市落合字上前田地内
TEL:0185-52-3111 (代表)

能代厚生医療センター外来担当医表

平成28年10月1日現在

診察科	開始時間	月	火	水	木	金			
消化器内科	一診	9:00	藤島 裕耕	藤島 裕耕	佐藤 尚子	藤島 裕耕	佐藤 邦彦		
	二診		佐藤 邦彦	佐藤 尚子	-	佐藤 邦彦	佐藤 尚子		
血液・腎臓内科 リウマチ科	9:00	波多野善明	一診	小澤 政豊	一診 大学医師(腎・膠原病) 小澤 政豊	一診	波多野善明	一診	大学医師 (血液疾患)
			二診	-	二診	道下 吉広 (血液疾患)	二診	小澤 政豊	二診
外科	一診	9:00	加藤久仁之	大山 健一	大山 健一	加藤久仁之	大山 健一		
	二診		佐藤 慧	佐藤 慧	第1・3・4 乳腺外来 第2 佐藤 慧	佐藤 慧	加藤久仁之		
脳神経外科	一診	9:00	太田原康成	太田原康成	太田原康成 (10:00まで)	太田原康成	太田原康成 (10:00まで)		
	二診		遠藤 英彦 (10:00まで)	-	遠藤 英彦	遠藤 英彦 (10:00まで)	遠藤 英彦		
神経内科	9:00	-	金正門(岩手医大)	-	-	-			
呼吸器内科	一診	9:00	金田 浩人	杉山 直幸	第1・3・5 高橋 知親	杉山 直幸	第1・5 金田 浩人		
	二診		-	第2・4 金田 浩人	-	第2・3・4 杉山 直幸			
小児科	一診	9:00	高橋 郁子 (秋田大学)	近野 勇樹	近野 勇樹	近野 勇樹	近野 勇樹		
	二診		近野 勇樹 または成田 鮎子	成田 鮎子	成田 鮎子	成田 鮎子	成田 鮎子		
	午後	13:30	乳児検診	予防接種	-	予防接種	-		
整形外科	一診	9:00	佐藤 毅	安藤 滋	佐藤 毅	久保田 均	佐藤 毅		
	二診		安藤 滋	齋藤 光	久保田 均	齋藤 光	伊藤 博紀		
	三診	12:00~ 伊藤 博紀	-	9:00~12:00 伊藤 博紀	-	-			
	9:00~12:00	スポーツ外来	-	-	-	-			
循環器内科	一診	9:00	木村 州孝	鎌田ななみ	木村 州孝	木村 州孝	木村 州孝		
	二診		鎌田ななみ	須藤 佑太	須藤 佑太	鎌田ななみ	須藤 佑太		
	三診	9:30	秋田大学医師	秋田大学医師	秋田大学医師	秋田大学医師	秋田大学医師		
産婦人科	婦人科	一診	9:00	柴田 悟史	松井 俊彦	柴田 悟史	木藤 正彦	松井 俊彦	
	産科	二診	9:30	松井 俊彦	亀田優里菜	木藤 正彦	亀田優里菜	木藤 正彦	
精神科	一診	9:00	野澤 宏二	柴田 悟史	松井 俊彦	柴田 悟史	亀田優里菜		
	二診		野澤 宏二	齋藤 英知	齋藤 英知	齋藤 英知	野澤 宏二		
	三診		山田 篤	野澤 宏二	山田 篤	石川 勇仁	石川 勇仁		
泌尿器科	9:00	近田龍一郎	野澤 立	近田龍一郎	近田龍一郎	野澤 立			
皮膚科	一診	9:00	矢島 晴美	矢島 晴美	矢島 晴美	矢島 晴美	矢島 晴美		
	二診		弘前大学医師	弘前大学医師	弘前大学医師	弘前大学医師			
耳鼻咽喉科	一診	9:00	江戸 雅孝	江戸 雅孝	江戸 雅孝	江戸 雅孝	江戸 雅孝		
	二診		浅香 力	浅香 力	浅香 力	浅香 力	浅香 力		
形成外科	9:00	岩手医大医師	-	-	-	岩手医大医師			
腫瘍内科	毎週水曜日	-	-	秋田大学医師 9:00~	-	-			
糖尿病・代謝科	9:00	秋田大学医師	岩手医大医師 (第2・4)要確認	後藤 尚 (秋田赤十字病院)	-	秋田赤十字病院医師			
心臓血管外科	第2・4のみ	-	岩手医大医師 9:00~	-	-	-			
眼科	完全予約制	秋田大学医師 9:00~	-	-	-	秋田大学医師 14:00~			
放射線科	-	-	岩間 13:30~15:00	岩間 13:30~15:00	岩間 8:50~15:00	岩間 8:50~15:00			
緩和ケア外来	14:00~16:00	-	-	緩和ケアチーム	-	-			

臨時職員を募集しております

私たちと一緒に働きませんか！

当院では、現在下記職種において臨時職員の募集を随時行っております。

「看護師・准看護師・看護補助員・事務職員(医療クラーク)・調理員等」

能代厚生医療センターは、「私達が守りたい地域の笑顔と医療の心」を合言葉に、地域中核病院として幅広い地域医療活動に取り組んでおります。地域の皆様に信頼され愛される医療機関として、働きやすいより良い職場環境を目指しております。皆様のご応募をお待ちしております。

詳細については、総務管理課 (☎0185-52-3111) までご連絡ください。